



『その下にあるもの』(2月7日) を振り返って・・・

- 我喜屋監督が「生活態度」を見直せと言ったとき、きっと選手たちは監督の考えにあまり賛成しなかったと思います。でも、細かいことから全力で当たり前を当たり前にすることの大しさに気づいた時に、春夏優勝への道が開いたんだと思いました。(女子)
- 甲子園を優勝できるチームは、野球だけが強いんじゃないくて、人として、しっかりしている人が多いチームが勝てるってことがわかった。(男子)
- 大きいことを達成したからすごいといって褒めることは正しいけど、達成するためにたくさん苦労して努力してきたことがすごい、と言う方が正しいのではないかと思いました。難しいことをいきなりやって無理だとあきらめず、苦労を乗り越えて逆境を変えてから挑戦することが大切だと感じました。(女子)
- 生活態度を良くしたら人が良くなり、人が良くなったらプレーもよくなると思う。小さなことでも気づかなかったら、自分たちに何が足りないかすらも気づけなくなるんじゃないか、と思った。だから生活をしっかりしていきたいと思った。(男子)
- 生活と部活は全く関係ないと思っていたけど、生活態度を変えていかなければ、レギュラーにもなれないし、基本から見直したい。(女子)
- 小さいことの積み重ねで、大きいことにつながって最終的に大きいことにつながる。1つひとつ積み重ねがあってこそ優勝できたのだと思いました。(男子)
- 根っこがよければ咲く花もきっときれいになるというのがすごくいい言葉だなあと思いました。私も花が咲くように根っこをよくしていきたいなあと思いました。つらいことでもあきらめずに挑戦することを大切にていきたいと思います。(女子)
- 逆境に立つとは、ピンチなのではなく、チャンスなのだと思った。逃げるか逃げないかは自分次第で、その選択で人生は変わってくる。(男子)
- 今日の授業をして、小さなことから自分を変えていきたいなと思いました。小さなことといっても、悪いことももちろん良いことをもっと良いことに変えたいと思いました。部活でももっと仲間のことを思って、考えて行動していくべきだと改めて思ったし、部活だけでなく、クラスでも同じようにしたい。(女子)
- 結果だけを見て考えるのではなく、その前に基本的なことから正していくのが、一番シンプルで一番意義があるんだなと改めて思いました。(男子)

24年間もの間、甲子園に出場していなかった高校の野球部が、ある先生の改革によって春夏連覇を成し遂げた話から学びました。みんなは、どのような“変えたい”を心にもっていますか。どのような夢を抱いていますか。それは、今ここにいる自分に実現できそなことですか。…我喜屋監督が部員に示したように、自分自身を少し離れた目で見て、小さなところから心がけていくと、その実現に近づいていくかもしれませんね。「根っこがきちんとすれば、いつでも花を咲かせることができるけれど、根っこがきちんとしないければ、花は咲かない。」という言葉のように、今は見えない根を強く丈夫なものにしていってほしいと思います。チャレンジし、悩んだり迷ったりするからこそ、なかなか簡単に抜けることのない根がでてくるんだだと思います。今みんなの頑張りは、きっと未来の自分を支えてくれますよ！